

2025年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	18	長野工業	高等学校	全日制	課程	工業	科
----------	----	------	------	-----	----	----	---

学校教育目標	道徳教育の重点目標
育てたい人間像 ○生命を尊び、平和を希求し、よりよい社会の実現をめざす人 ○生涯にわたって主体的に学び続け、社会に貢献しようとする人 ○自らの人生を追求し、工業で新たな社会を創造するための技術力・実践力・人間力を身につけた人	・規範意識を高め社会の一員としての生きる力を育てる ・自他の人権を尊重する精神と態度を育てる ・礼儀を重んじ他者と望ましい人間関係を築く基盤作りをする ・基本的生活習慣の確立を図る
重点目標	
○普通科目と専門科目ともに学力、技術力をのばす。 ○5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）を徹底し、基本的生活習慣を養う。 ○一人ひとりを大切に、いじめ、体罰を許さない安全安心な学校づくりを推進する。 ○探究活動や進路指導を通じて生徒の自己実現をサポートする。	



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める	○基本的生活習慣の確立 ○就業体験や産業フェアの視察により地域の産業や企業を知るとともに、社会と個人の関係を見つめ社会性を養う	他者と良好な人間関係を築ける人間性を培い、仲間との集団生活の中で協調性やお互いを尊重し合う気持ち、相互扶助の態度を養う ○自分づくりの講話 ○SNSの講演会 ○からだと心の講話 ○平和学習	本校生徒としての自覚を持ち、主体的に努力する態度を身につける ○クラブ活動 ○生徒会自治活動（学校開放） ○ボランティア活動	国語	様々な文学作品や評論文の読解をとおして、自己を理解し、他者の心情に思いを致す想像力や公共心、社会性を育む。
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける	○集団行動における規範意識の醸成 ○自己分析・理解からの就業意識の育成 ○コミュニケーション能力の向上 ○インターンシップや産業フェアの視察により地域の産業や企業を知るとともに、社会と個人の関係を見つめ社会性を養う	2学年は、校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する態度を養う ○平和学習（修学旅行の事前学習） ○総合的な探究の時間、インターンシップ報告会	他者と協働する活動を通して、集団の一員としてより良い社会の構築に貢献する態度を身につける ○クラブ活動 ○生徒会自治活動（学校開放） ○ボランティア活動	地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していこうとする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を身につける	○適性に合った進路の決定 ○自己表現力の強化 ○課題解決力の育成	社会人となる自覚を持って、自ら意欲的に学校や地域社会の諸問題を解決していこうとする態度を養う ○課題研究発表会（研究活動を通して、粘り強くやり遂げる態度を養う） ○高校卒業後の自分の在り方について考える	社会を構成する一人であることを自覚し、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む ○地域との連携 ○クラブ活動 ○生徒会自治活動（学校開放） ○ボランティア活動	公民	広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
					数学	数学的な見方、考え方を学び、数学的な活動を通して、粘り強く論理的に考える力を身につけ、知的好奇心や創造力を養う。
					理科	正しい科学的知識を身につけ、科学が平和につながることを学び、健全な心を育成する。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の学習を通じて、多様な考え方への理解を深め、公正な判断力と豊かな心情を育てる。また、広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養う。
					家庭	人間の生涯にわたる「自分・家族」「子ども・高齢者・社会福祉」「消費・環境」の各分野において、人間としての在り方や生き方をグループやクラス全体で交流し探究する。様々な道徳的価値観において「なぜそう思うのか」「何が正しいのか」「自分はどうすべきか」を考える中で道徳的な見方や考え方を育成する。
					工業	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。



家庭・地域との連携	・学年通信、クラス通信、ホームページ、オクレンジャーなどを活用し学校の教育活動を随時家庭や地域に伝える ・学校評価、PTA総会などを通して保護者との連携をはかり、生徒が望ましい生き方・進路を実現していく手助けをする ・生徒会による学校周辺の道路の清掃や交通安全・挨拶励行の啓発活動および花壇作りなどを通じ地域の社会活動に寄与する ・地域でのイベントや催しなどへの参加により地域住民と交流し相互理解を図る
-----------	--